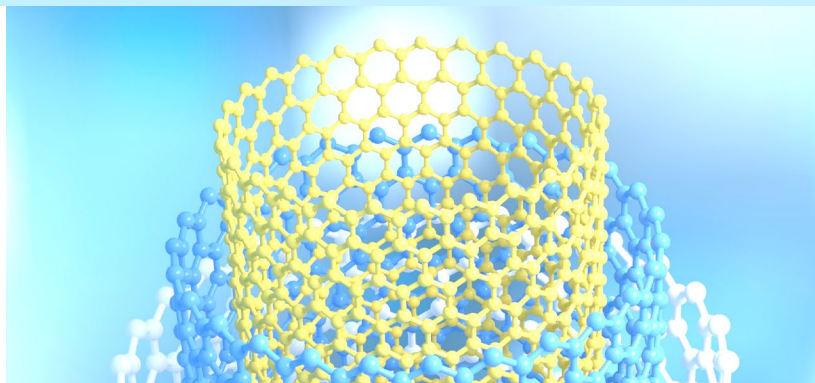


カーボンナノチューブの物性・応用研究の最新動向

多様な領域で優れた物性を示すカーボンナノチューブは、発見以来、様々な分野での応用が期待されてきました。近年も興味深い性質が続々と発見され、応用への展開も日進月歩で進んでいます。本シンポジウムでは、ここ数年のカーボンナノチューブの物性・応用研究の急速な発展を踏まえ、最近発見された新奇な物性や実用化への進展状況を各講師に紹介いただき、他分野からの聴講者とともに共有します。

2024年 **9月17日 (火)**
13:30 - 18:30

ハイブリッド開催
朱鷺メッセ 201B会場
& オンライン



宮内 雄平 (京大)	カーボンナノチューブの熱光物性
丸山 茂夫 (東京大)	単層カーボンナノチューブのデバイス応用と1次元ヘテロ構造
齋藤 理一郎 (東北大)	ナノチューブの螺旋対称性に依存した物性
平原 佳織 (千葉大)	in-situ 電子顕微鏡法によるカーボンナノチューブ単一界面の熱動態計測
Prabhat Verma (大阪大)	Tip-enhanced Raman spectroscopy and nanoimaging of carbon nanotube
田中 啓文 (九工大)	ナノカーボンランダムネットワークを利用した物理リザバー演算素子とそのセンシング応用
周 英 (産総研)	カーボンナノチューブを用いた次世代電池の開発と展開
弓削 亮太 (NEC)	カーボンナノチューブを利用した赤外線イメージセンサ
大久保 総一郎 (住友電工)	住友電工におけるカーボンナノチューブ線材の研究開発 - 変遷と展望について -

企画 大分類17 ナノカーボン
世話人 丸山隆浩 (名城大)
井ノ上泰輝 (大阪大), 大塚慶吾 (東京大)

